

特集

うつより多い

不安

患者も医師も
安らぎたい

企画 | 宮崎 仁

人は、なぜ医療機関を受診するのだろうか？

それは、「不安」を払拭するためである。

プライマリ・ケアで遭遇するコモンな身体愁訴である動悸やめまい、頭痛の背後にも、

患者の不安が渦巻いていることに、多くの臨床医は気がついていない。

本特集では、日常診療の現場では、実は「うつ」よりも頻度が高く、

うつと併存することが非常に多い「不安」にスポットを当てる。

「不安症／不安障害」を同定できる質問を身につけて、きちんと評価できるようになろう。

診療のさまざまなシーンで遭遇する不安と、その対処法についても知っておきたい。

さらに、ベンゾジアゼピン系薬に頼らない治療とマネジメントについて考えたい。

「不安」を制するものは、プライマリ・ケア診療を制する！

の診かた

今月の Questions

Q1 プライマリ・ケア医は、「不安症／不安障害」に、どこまで、どう対応すべきでしょうか？ >>> 1168

Q2 不安を「身体診察」で評価することは可能ですか？ >>> 1172

Q3 プライマリ・ケアにおいて、不安を「評価」する時に留意することは？ >>> 1177

Q4 不安に対する「薬剤」で、最もエビデンスのあるものは？ >>> 1182

Q5 プライマリ・ケア医が不安に対する「精神療法」を行う時に留意すべきことは？ >>> 1188

Q6 プライマリ・ケア外来で、「全般不安症／全般性不安障害」をみた場合の対処法は？ >>> 1193

Q7 プライマリ・ケアの外来診療で、「強迫症／強迫性障害」を見逃さないコツは？ >>> 1198

Q8 ER（救急室）で「一見してパニック発作」の患者を診る時に気をつけることは？ >>> 1202

Q9 プライマリ・ケアの現場で、“ほぼPTSD”と言える心の傷に対する反応として

「身体症状」を訴えている症例をみつけるコツは？ >>> 1207

Q10 母親の不安を支えるコツと、見逃してはいけない3つは？ >>> 1214

Q11 死が現実になりつつある患者と、どう接したらよいのでしょうか？ >>> 1221

Q12 臨床医が現場で直面する不安や恐れを軽減する方法はあるか？ >>> 1226

Q13 診療での不安を消し去って、切れのよい診療をするには、どうしたらよいのでしょうか？ >>> 1230

Q14 「自分は正確な診断・治療を提供できていないのではないか」という不安が、いつもあります。

どうしたら、この不安をなくすことができるのでしょうか？ >>> 1234